

月刊 アカンス ニュース

第20号 1998(平成10年).1

「アカンス」とは、古代ギリシャ・ローマに由来し、金沢大学の校章にも使われている植物の名称(和名「ハアザミ」)です。

巻頭言

時を得て 機敏に行動



学長 岡田 晃

平成10年初春を迎えた。街には雪もなく、誠に穏やかな正月である。

さて、今年(今年)は寅年。トラは古来、強いものの代表として掛軸などにも描かれており、正に機敏で行動力に富んだ動物なのである。

金沢大学は今年、総合移転においては、第一期計画事業を更に一步前進させることとなる。第一期の経験を下に、部局と関連委員会が有機的に機能して、一つひとつ夢を実現していかなければならない。また、宝町地区においては、医学部附属病院を中心として、県民市民により高い信頼を受ける医療を提供できるよう、再開発を進めることとなる。昨年10月の臓器移植法の施行に伴って、本院も脳死状態からの臓器の提供施設となり得たが、充実する施設だけに限らず、それを動かす教職員には、常に人間としての崇高な

倫理を保ちつつ、果敢にこの地域の医療をリードしつづけなければならない使命がある。

さらには、創立50周年を翌年にひかえて、今、大学の将来の発展の礎をしっかりと固めなければならない時でもある。金沢大学が21世紀に大きくはばたくためには、時には慎重にもならなければならないまいが、また時には“無難”以上の成果を求めて、猛虎の如くの激しい攻めを見せなければならないこともある。もちろん、そのタイミングをしっかりと見据える必要はあるが・・・。

教職員一人ひとりが大学を動かしていることの認識と自負を持って、金沢大学を愛し、金沢大学を育ててほしい。多くの若トラが出現し、活躍する一年であってほしい。

今月の表紙写真

Cover Photo



テープカットをする岡田晃学長(中央)、橋本哲哉附属図書館長(左端)及び中村厚生事務局長(右端)
= 11月25日午前、石川県立図書館(金沢市本多町)で

「幕末・明治期古写真等資料展」
大勢でにぎわう

(関連記事は2ページ)



医学部倫理委 がゴーサイン **脳死状態の臓器提供が可能に**

医学部は12月4日、倫理委員会を開き、附属病院が脳死者からの臓器提供施設となることなどを承認した。(石川県内では、平成9年12月末現在、金沢医科大学病院を含め2施設)

今後は、附属病院内の臓器移植問題検討委員会で臓器提供の具体的な手続などが検討される。



慎重な審議が行われた医学部倫理委員会
= 12月4日午前、医学部会議室(宝町)で

附属図書館等の主催で 「幕末・明治期古写真等資料展」を開く



日本の歴史に興味を持って会場を訪れた外国人留学生
= 12月1日午前、石川県立図書館(金沢市本多町)で

附属図書館と国立大学図書館協議会は、11月25日から12月2日にかけて、同協議会の巡回事業「幕末・明治期古写真等資料展」を石川県立図書館を会場として開催した。

同展では、幕末・明治期の風景・風俗を撮影した写真100点(長崎大学附属図書館所蔵)と、「黒船」で有名なペリー提督直筆のサインがある「日本遠征記」(本学附属図書館所蔵)ほか貴重な資料が公開され、多数の入場者でにぎわった。



医学研究科分子情報医学系専攻の新設，自然科学研究科の改組 などが認められる 平成10年度政府予算案 内示

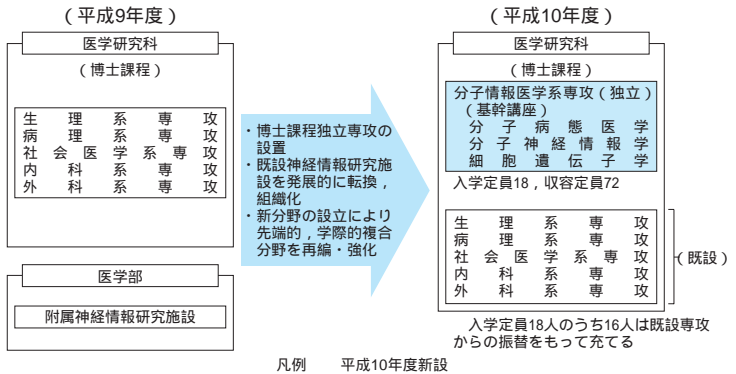
12月24日，平成10年度予算案が文部省から内示され，本学関係では，大学院医学研究科の専攻の新設や自然科学研究科の改組などが認められた。内示の概要などは次のとおりである。

平成10年度政府予算案内示の概要

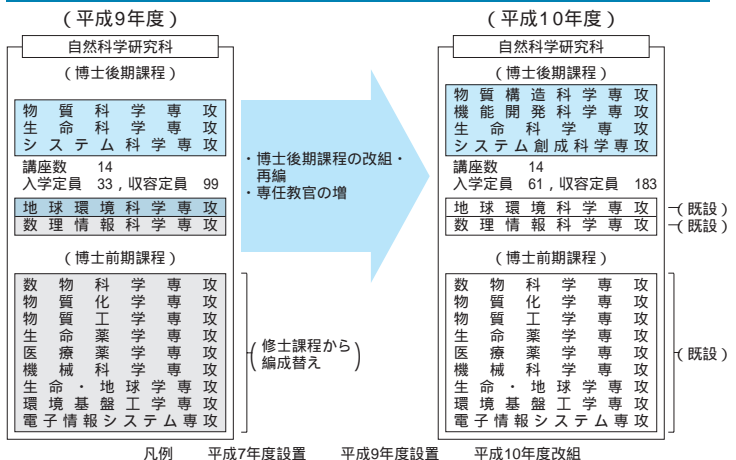
(医学研究科，自然科学研究科関連は右掲)

大学 第3年次定員改訂	入学定員 10
工学部(共通)	収容定員 20 教授 1
臨時増募の廃止	教授 1(文)，教授 1(法)，助教授 1(経) 入学定員 50(文 10，法 10，経 10，理 10，工 10)
留学生センターの整備	短期留学プログラム関係 教授 1，助教授 1
学生部事務機構の整備	就職指導担当専門員 1
留学生業務担当部門の充実	短期留学プログラム担当職員 1
流動部門から復帰	
薬学部	助教授 1
教育研究特別設備費	マルチメディア外国語学習システム(外セ)
高度情報教育推進経費	教育用電子計算機のレンタル(自)
その他，学年進行分の教官増，臨時増募の廃止(8年度，9年度分)に係る教官の減などがある。	
大学附属病院	
薬剤師の増	医(二)技官 4，行(二) 2(いずれも医病)
総合診療部の整備	助教授 1，看護婦 1(いずれも医病)
看護職員の増	看護婦 1(医病)
病院特別医療機械整備費	生化学自動検査システム 感染症滅菌システム 内視鏡的体腔治療システム 泌尿器系X線診断システム(以上医病) 温熱治療システム(がん病)

大学院医学研究科分子情報医学系専攻(独立専攻)の新設の概要



大学院自然科学研究科の改組の概要



約300人の参加で“留学生懇談会”盛り上がる

12月5日，石川厚生年金会館(金沢市石引)で，岡田晃学長主催による「金沢大学留学生懇談会」が開かれた。

同懇談会には，外国人留学生のほか関係教職員など約300人が集まり，和太鼓や山中節などが紹介される一方，留学生からも自国の踊りなどが披露された。

留学生懇談会の写真もう1枚を裏表紙にカラーで紹介



和気あいあいと楽しげな留学生たち = 12月5日夜，石川厚生年金会館で



大学院医学研究科 学位記授与式を挙行

12月16日、医学部(宝町)で大学院医学研究科の学位記授与式が行われた。今回、学位記を授与されたのは、博士課程修了者5名と論文審査合格者16名の計21名。

同授与式では、岡田晃学長から告辞(代読)が、中西功夫医学研究科長から祝辞が述べられた。



学長告辞を代読する中西医学研究科長
= 12月16日午前、医学部会議室(宝町)で

就職内定者による 活動体験報告会を実施

12月12日、文・法・経済学部棟(角間)で、就職内定者4名を招き“活動体験報告会”が催された。参加した約200人の各学部3年生たちは、就職活動における最近の傾向と対策について、先輩の生の声に真剣に耳を傾けた。

また、これに先立ち、11月18日に行われたキャリアガイダンス(第7回)では、初の試みとして「就職戦線の実際」と題した就職トークが実施され、各業界からの4名の講師が業界の現況や求める人材について、アドバイスを交えながら語った。



“キャリアガイダンス”での就職トークの様様
= 11月18日午後、文・法・経済学部講義室(角間)で

“職員スポーツ大会” 表彰式を行う

8月30日から10月30日にかけて催された平成9年度職員スポーツ大会の表彰式が、12月19日、事務局第3会議室(角間)で行われ、ソフトボール、卓球、硬式テニス、ポウリングの4種目の入賞チームと入賞者が、賞状と副賞を受け取った。

なお、成績については、事務通報(平成9年10月発行)に掲載。



ソフトボール優勝の表彰を受ける職員
= 12月19日午後、事務局第3会議室で





12月の研修スナップ

ホームページ研修(中級・初級)

期 日：11月4日～12月24日
 受講者：本学ホームページの作成実務担当者 12名
 場 所：総合情報処理センター



中級コースの研修風景
 = 11月11日午後、総合情報処理センターユーザー室(PC 3角間)で

平成9年度パソコン研修「初級コース」

期 日：11月13日～12月25日
 受講者：パソコンを利用する事務職員 35名
 場 所：経理部情報処理課ほか



5人ずつのグループに分かれて行われたパソコン研修
 = 12月11日午後、総合情報処理センターユーザー室(PC 3角間)で

第1回マネジメント研修

期 日：12月8日・9日
 受講者：課長、室長及び事務長 17名
 場 所：事務局大会議室



松永芳彦氏(株人材情報センター)を講師に迎えての講義の様相
 = 12月9日午後、事務局大会議室で

「第7回石川地域留学生交流推進会議」を開催

本学を事務局とする「第7回石川地域留学生交流推進会議」が、12月5日、石川厚生年金会館(金沢市石引)で開催され、県内の大学、国際交流団体、石川県などの関係者約30名が一堂に会し、留学生交流モデル地域推進事業などについて活発に協議した。



議長として会議を進行する岡田晃学長
 = 12月5日午後、石川厚生年金会館で

本学へのお客さま(12月)



ニューヨーク州立大学バッファロー校(米国)学長夫妻
 (右から2人目、3人目)
 = 12月3日、学長室で



タフツ大学(米国)副学長(左)
 = 12月13日、事務局特別会議室で



附属幼稚園と養護学校で 心待ちの“クリスマス会”

12月11日、教育学部附属幼稚園(平和町)で、“クリスマスおたのしみ会”が催された。5歳児を中心とした園児らが進行係となって、歌・合奏・創作劇を発表し、つめかけた大勢の保護者たちは園児たちのかわいらしい姿に目を細めていた。園児たちは、最後に、プレゼントをもらうなど大喜びの一日となった。また、12月17日には、同養護学校 東兼六でも“クリスマス子ども会”が行われた。



先生の指揮に合わせて一生懸命演奏する3歳児
= 12月11日午後、附属幼稚園プレイルームで

吹奏楽団 '97年しめくくりの大演奏

学生サークルの「吹奏楽団」は、年末恒例の定期演奏会を開いた。3部構成で、計10タイトルを披露。第2部の音楽劇「ピーターと狼」では、情景を思い浮かばせる演奏に加え、手話を交えたナレーションとバックに映し出される切り絵が観客をメルヘンの世界へと誘った。10回目の記念すべき演奏会は、見事な演出で拍手喝采となった。



凝った演出をバックに演奏を披露する「金沢大学吹奏楽団」
= 12月27日夜、金沢市観光会館(金沢市下本多町)で



金沢大学50年の歩み

50年史編纂室収集資料から
(その2) 金沢大学第1回卒業証書授与式
昭和20年代後半

本学の第1回卒業証書授与式は、昭和28年3月25日午前10時から理学部講堂(現在の金沢市広坂)において、土井登石川県副知事を来賓に迎えて盛大に挙行された。卒業生は506名。ほかに教育学部二部修了者61名も出席した。

式では、戸田正三学長から「同胞の人的尊厳性のため正しい人間革命にのりだしてほしい」との励ましの言葉があり、卒業生を代表して法文学部の中田直人君が「真の批判は社会における有用性いかんにあると思う。今後私たちは常に進歩への努力を続けることを誓います」と答えた。

この年は、前年の朝鮮動乱の休戦により、特需ブームが下火になろうとする年でもあり、深刻な経済不況であった。全国10万人の大学卒業生で就職できたのは半数を下回り、本学でも、就職希望者540人に対する求人数は358人(66.3%)にすぎなかった。



卒業証書を受け取る卒業生
(昭和28年3月25日発行の北國新聞夕刊から)



初代・戸田学長時代の卒業証書
(工学部50年史から)





留学生センター・ニュース (ISC NEWS) を創刊

留学生センターは、「ISC NEWS (International Student Center News)」を創刊し、2,000部を配布した。

このニュースでは、今後、外国人留学生や留学経験のある日本人学生からのコメントのほか、センターの活動を伝えることとしており、外国人留学生にとってもありがたい情報提供紙となりそうである。創刊号では、センターの役割のほか、センター教官と留学生課のスタッフも紹介している。



ISC NEWS 創刊号



KUPIS (キューピース) 情報

金沢大学ホームページ

クリック順

トップページ

(下段の)
公式ホームページ

金沢大学
ホームページ研修

ホームページを作成する実務担当者の養成を目的として、人事課が11月から12月にかけて主催した「ホームページ研修」の講義内容や受講者自身が実習で作成した各自のホームページを掲載している。

講義を担当した「公式ホームページ」専門委員会委員による解説も含まれており、今後ホームページを作成・更新しようとする者にとっても活用できるものである。

アドレスは <http://www.kanazawa-u.ac.jp>

その5 ホームページ研修



中級コースの中の「HTML」タグ(ホームページ作成のための言語・記号)の説明

編集後記

新しい年を迎え、気持ちも新たにスタートされたことと思います。

昨年は、学内・外ともにいろいろなことがありました。

学内では、政府の行政改革会議における国立大学の独立法人化問題など国立大学の在り方を問われた年でもあったかと思えます。

一方、学外に目を向けると金融機関の経営破たんによる倒産など一昔前では考えられないような事件が相次ぎ、世間は

まさに、世紀末と呼ぶにふさわしい不安定な状況でした。

このような状況の中で、平成10年度政府予算内示において、本学の総合移転第一期計画事業、宝町地区再開発事業の推進経費や大学院の充実関係の予算などが認められ、今年は、21世紀に向けて更に飛躍する年でもあるかと思えます。

平成11年の創立50周年に向けて記念事業の実施計画など取り組むべき課題も多くありますが、皆さん、今年も力を合わせて頑張っていきましょう。(上梨)



このページには、カラーで紹介するのにふさわしい写真を集めてあります。



空から見た我がキャンパス

その 小立野キャンパス (8.3ha)

(平成9年5月撮影)



小立野通り上空から小立野キャンパスを望む
本キャンパスにある工学部等は、第 期計画事業により、すべて角間キャンパスへの移転が予定されている。



盛大に“留学生懇談会”を催す

(関連記事は3ページ)

新疆ウイグル族の踊りを披露する医学研究科1年の艾米热古力 沙吾撮(アムラ サビット)さん
12月5日夜、石川厚生年金会館(金沢市石引)で

平成10年1月16日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-11 金沢市角間町
金沢大学庶務部庶務課研究協力・広報係

TEL 076-264-5019
FAX 076-234-4010

本紙の内容、その他本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ 愛称“KUPIS”(キューピース)」
(アドレス = <http://www.kanazawa-u.ac.jp>) でもご覧いただけます。
本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.ipc.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。

